

「TWUNE/菊池常利 ふくしま We~ハッピー~LIVE」報告

令和2年10月10日(土)

【目的・趣旨／概要】

コロナ禍において、これまでの当たり前が変わりつつある。友達や大切な人に自由に会えない日々が続く今、子供たちや若者の笑顔が世の中を明るくする。家族、周りの人たち、地域の人達がみんな笑顔で happy!になるために、福島県出身で福島をこよなく愛するシンガーソングライターの菊池常利氏によるライブや現役高校生の発表の機会を提供し、自然の家から元気笑顔を発信していく。

【連携先】

演奏者

- ・シンガーソングライターTWUNE/菊池常利氏 他バンドメンバー4名
- ・福島県立塙工業高等学校和太鼓部 13名
- ・福島県立光南高等学校 3組12名

【参加者】

【募集対象】 一般80名

【参加者実績】 50名

【プログラム概要】

- ・13時30分頃 受付開始・会場オープン(正面玄関・プレイホール)
- ・14時30分頃 光南高校OB西倉渚沙さんによるFREEトークタイム
プログラムの導入として、西倉氏によるトークショーを開催。参加者は西倉氏のこれまでのキャリア形成やイベントディレクターとしての今後の展望を聞き入っていた。
- ・15時00分頃 塙工業高校和太鼓部演奏
勇壮な和太鼓の演奏が繰り広げられ、参加者の心を掴んでいた。
- ・15時40分頃 光南高校バンド演奏(バンド名:Planet・Gumption・さば缶 計3組)
光南高校生の3バンドによる演奏。参加者はそれぞれのバンドの色を楽しんでいた。
- ・16時20分頃 TWUNE バンドライブ
この日のメインとなる TWUNE バンドの演奏。会場全体が盛り上がり、参加者は今回の主旨である「みんなで楽しむ」を体現していた。
- 18時30分頃 ライブ終了

【成果】

- ・コロナ禍で多くの人に自由に会えない現状、音楽で来場した様々な世代の人達を明るくすべく自然の家から元気笑顔を発信することが出来た。
- ・プロのミュージシャンのみならず、発表の場がほとんどない高校生にも演奏機会を提供することが出来た。また、そのことについて高校側からも感謝の意を頂戴した。
- ・当所が主催する地域探究プログラムで連携している光南高校に加え、塙工業高校と共に事業を行うことで、地域との結びつきをより強めることが出来た。
- ・統廃合の予定である塙工業高校の生徒にとって、コロナ禍により発表の機会がない状況下、思い出

深い時間となった（教員談）

・新型コロナウイルス感染症対策として、検温及び消毒やマスク着用の徹底に加えて、会場内において参加者の距離を一定間隔保つことで、密を防ぎながらライブを実施出来た。

【課題と方策】

・当初ターゲットとしていた親子 10 代・20 代の集客が思うように伸びなかった。今後はターゲット層とする年代が来場しやすい時間帯での開催を考慮すべきであった。また、音楽施設を中心に広報する等も必要である。

国立那須甲子青少年自然の家〔作成〕事業推進係：横屋 周

